

# みんなのわ

発行日	令和6年 2月17日
編集者	会長 勝俣三郎
発行	御殿場市ボランティア連絡協議会
電話	0550-70-6801

## 雲の向こう側はいつも青空

始めに、この度の能登半島地震により亡くなられた方々や被災された方々に、謹んでお悔やみお見舞いを申し上げます。

生き方さえ変えてしまった新型コロナウイルス感染からまる4年、昨年5月、5類に移行したからといってもコロナウイルス菌に変わりなく、マスクを放せない新時代。一方ロシアによるウクライナ侵攻はいつまで続くのか？ また先の見えないパレスチナ人道問題による民族戦争。世界中の皆に呼び掛けたい。自然災害は皆が力を合わせて復興出来るが、戦争はトップの心一つで当たり前だった幸せを取り戻せる。

「ここでは毎日快晴・雲の向こう側は、いつも青空」

私たち御殿場市ボランティア連絡協議会は、2011年東日本大震災から、さまざまな復興支援に参加してきました。被災12年目の昨年10月、静岡県東部ボランティア交流会で4年ぶりに東日本大震災復興視察ボランティアに行ってきました。参加者は42名 内御殿場から11名が参加して下さいました。

岩手の「風の電話」、仙台の「3,11メモリアル交流館」、福島では「原子力災害伝承館」を見学しました。また、津波で家族を亡くした被災時12才だったという若い女性の語り部さんが、涙ながらに精一杯被災地復興の様子を説明してくれた事からも復興の力強さを実感することができました。

さて「運転ボランティアたんぼぼ」は週一回、一昨年末よりウクライナから御殿場に避難して来た障害を持つ娘さんマルタさんの通院支援をしました。その関係から社会福祉協議会主催ふれあい広場でお母さんマリナさん作製のウクライナ・モタンカ人形の販売支援をしました。皆さまの御協力により完売し、さらに国立中央青少年交流の家オープンハウスへの参加が決まり、ここでも多くの皆さまにモタンカ人形を届けることができました。

併せて支援募金活動し、マリナさんにお渡ししました。その後、お二人は「安全より祖国で家族と暮らす」選択をし、11月1日ウクライナに帰国しました。その日は日本晴れの富士山の元、通訳の野田さんを始め、御縁のあった方々が無事の帰国を願って見送られ元気に出発しました。帰国したお二人から、ウクライナの障害者施設に募金を届け、リハビリ器具を求めましたと「写真・明細書」の報告が届きました。

皆さんボランティアは、人のためにどれだけ動けるか、そして人生の勝ち負けは他人が決めるものではありません。自分の心が満ち足りているかが大切です。ボランティア活動はこの世界のスタートです。皆さんの御参加をお待ちしております。

御殿場市ボランティア連絡協議会 会長 勝俣三郎

## ～ 隊友会御殿場・小山支部 ～

隊友会御殿場・小山支部は古庄支部長をはじめとし、今現在650名弱の会員が所属しております。支部の目的は、「市（町）民と自衛隊との「かけ橋」として、相互の理解を深めることに貢献し、もって我が国（地域）の平和と発展に寄与するとともに、自衛隊退職者の親睦と相互扶助を図り、その福祉を増進する。」とあります。

このため、御殿場市・小山町に居住する防衛省OBによる各種ボランティア活動へ積極的に参加・支援しており、その一環としてクリーンアップ作戦、ふれあい広場への参加、ふれあい交流会の支援等の活動をしております。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類相当に移行し、ようやく本来の行事が予定通り実施されました。今年も皆様と一緒に活動・交流できる機会を楽しみにしております。よろしくお願いいたします。



＜隊友会御殿場・小山支部＞

〒412-0041

JA 御殿場農協生活センター3階

〒 御殿場郵便局私書箱4号

☎ 0550-84-1431

※土曜日 10:00～12:00

【担当：中島 宏明】

## ～ 社会福祉法人 富岳会 ～

富岳会では、健・心・愛を法人の理念に掲げ、利用される方々の内なる可能性を引き出し、質の高いサービスと個性を大切にしています。こどもたちには健やかな成長を育み、障害を持たれている方々には生活と社会自立を支援し、高齢の方々には豊かな人生を送るための援助を行っています。

各施設で傾聴、環境整備、行事の外出支援等のボランティアを募集しております。

お気軽にご連絡下さい。



＜社会福祉法人 富岳会＞

〒412-0033

御殿場市神山 1925 番地の 1148

☎0550-87-0167 法人本部

0550-87-0259 サポートセンターふがく

【担当：関本顕耶】

## ～ NPO 法人 のぞみ作業所 ～

### 「のぞみの仲間たち」 の紹介

のぞみの仲間たち23人は、「明るく、仲良く、元気よく」をモットーに、毎日社会の一員として、「のぞみ」で作業をしています。この機会に「のぞみの仲間たち」や、作業を紹介します。

毎年恒例の「のぞみ祭り」  
全員テンションが上がりっぱなしです。



下請けは、軒花や車の配線組み立てなど



園芸は、花壇の整備や、花、野菜の苗の育苗販売 野菜は50円から「安ーい！」  
染色品は、手ぬぐい、タオルのピー玉染やぬいぐるみ 100円から「安ーい！」  
花や野菜苗、染色品は「交流センターで常時展示販売中」  
センターの清掃作業も毎日



以上が「のぞみの仲間たち」の毎日の仕事です。  
地域の皆さんいつも有難うございます。今年も頑張ります！

<NPO 法人のぞみ作業所>

〒412-0041

御殿場市茱萸沢 890 番地の 7

☎ 0550-89-6884

【担当：滝口 誠】

## ～ 社会福祉法人 野菊寮 ～

野菊寮は 1961 年に「御殿場コロニー」として創立し今年で 63 年を迎えました。地域では「野菊寮」より「御殿場コロニー」の方が分かりやすい様です。

現在は 20 歳～88 歳までの知的に障害を持った方が生活され日中は音楽活動、創作活動、製菓喫茶活動等を行っています。そして何より自然に恵まれた環境を生かし隣接する森林への散歩は毎日の楽しみになっています。

施設の特徴としては小舎制の建物！敷地内にある8つの小舎(8人～13人編制)にはそれぞれ花の名前が付けられアットホームな生活を送っています。

ここ数年は新型コロナの影響で施設行事や外出の制限が有り窮屈な生活になっていましたが、今後も開かれた施設として施設行事やボランティアハイキング等の際は引き続き地域の方の御協力、御来所をお待ちしております。



<社会福祉法人 野菊寮>

〒412-0006

御殿場市中畑 1798

☎ 0550-89-1421

【担当：橋本 誠・湯山敬子】

## 第40回記念御殿場市ふれあい広場への参加について

令和5年9月23日（土）に市民交流センター「ふじざくら」にて、第40回記念御殿場市ふれあい広場が開催され、ボランティア連絡協議会も参加をしました。

出店内容は、アートバルーン、射的、東日本大震災復興支援海産物、手芸クラブ作品、ウクライナから避難していたマリナ イワシチェンコさん・マルタさん親子が作製した、モタンカ人形の支援販売をしました。

「ふれあいの小さな手から大きな輪」のテーマのもと、市民同士だけでなく国境を越えて、交流を深めることができました。

ボランティア連絡協議会加盟団体からも12団体、その他の団体計46団体が参加され、盛況のうちに終了しました。



手芸クラブ作品・モタンカ人形の支援販売



副実行委員長の勝俣会長と  
お笑い芸人の合図で幕を閉じました



会員も出店のお手伝い！！

## 市災害ボランティア本部立ち上げ訓練への参加について

令和6年1月17日（水）に、市民交流センター「ふじざくら」で実施された、市災害ボランティア本部立ち上げ訓練に参加をしました。これは、御殿場市で大規模災害が発生した際に、被災者支援を行う市社協を中心に運営されるものです。

ボランティア連絡協議会会員も運営役やボランティア役として参加し、防災意識を高めました。

毎年1月17日に実施を予定していますので皆様の御参加お待ちしております。



## 能登半島地震支援金に係る募金箱の設置について

令和6年1月1日（月）に能登半島を中心に甚大な被害をもたらした、能登半島地震の支援金を市社協窓口を設置をしました。

受け付けた、支援金は、中央共同募金会を通じて被災地に定期的に送金をしています。

平日の午前8時30分から午後5時15分まで設置をしておりますので皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



## 編集後記

今回の編集担当は「隊友会御殿場・小山支部」、「社会福祉法人富岳会」、「NPO 法人のぞみ作業所」、「社会福祉法人野菊寮」でした。  
お問い合わせ、御意見等は、御殿場市ボランティア連絡協議会事務局までお願いいたします。

事務局 ■ 〒412-0042 御殿場市萩原 988-1 御殿場市民交流センター「ふじざくら」内  
社会福祉法人 御殿場市社会福祉協議会 ☎ 0550-70-6801 Fax 0550-89-5501